

予定手術日：毎週「水曜・木曜」の2日間のみ  
直列で、1日3~4件が限度、週に6~7件が限界  
(手術室の応需件数、全科的にバンク状態)

年間200件の帝王切開、月に16~17件の計算

→婦人科手術は週2件に制限せざるを得ない

- 現在、婦人科の予定手術は5ヶ月待ち(or 紹介)

→周産期医療が最優先!

16

師 3名 (十非常勤医師 4名)

産婦人科医 3名で500件の経膈分娩と  
320件の産婦人科手術(含帝切)を  
どうこなしてきたか!

助産師 21名「

産科医不足へのkey word  
→「役割分担のチーム医療」

17

産婦人科の紹介

診療実績の紹介

周産期医療の現状:

→今直ぐにでもできることはないものか?

一産科医の苦悩・変遷、そして「助産師外来」

## 6. 総括

18

産婦人科医の高齢化：(2004年)

50歳以上が52% (60歳以上が30%)→リタイアが急増!

5年前より  
更に  
状況は悪化している

産婦人科専門医の数：(毎年約8000名の卒業生だが?)

340名(2002年)→296名(2003年)→271名(2004年)→確実に減少!

新臨床研修医制度の開始(2002年度)→大学入局医師2年間の空白!

産婦人科医師がゼロになった病院数：(2003~2004年)

1186病院中 117病院(9.9%)→産科医不足は社会現象!

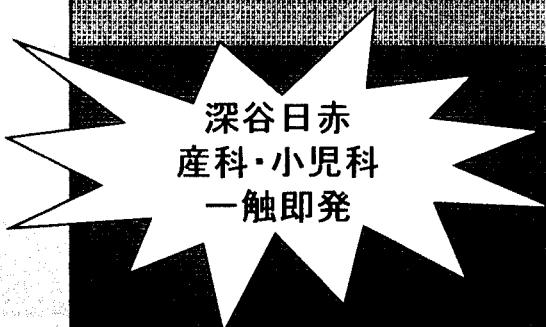
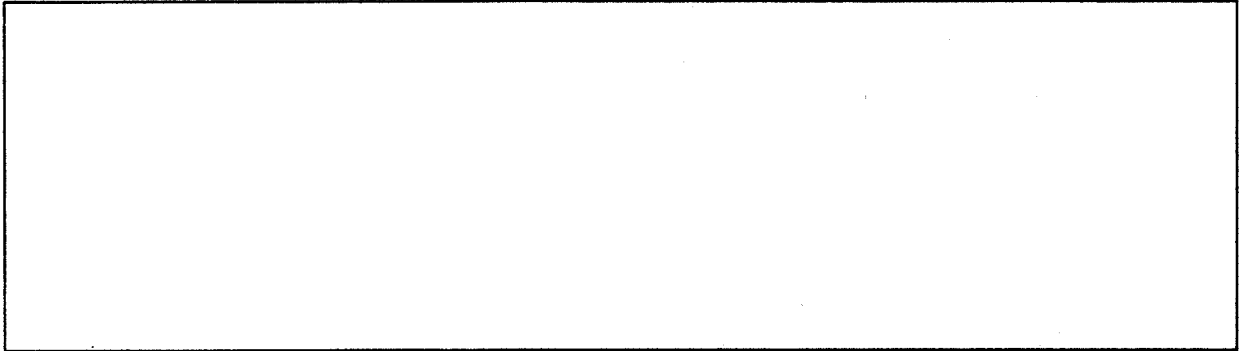
・産婦人科医師定員不足の病院数：(2003~2004年)

31.8%→産婦人科医を支える人的資源は枯渇している!

深谷日赤・産婦人科窮状

常勤医師確保に奔走!  
(地域の偏在・診療科の偏在)

19



深谷日赤  
産科・小児科  
一触即発



大学派遣の産科医集約

一人の産科医が10人ほど、少産科の多い地域に、今、何人か派遣する。産科医の集約が、地域医療の維持に必要とされている。産科医の集約が、地域医療の維持に必要とされている。

近くで産めない

「頼みの綱」だったはずの  
大学に背を向けられた  
地域では、妊婦たちが  
不安を募らせている。

突然転院の通告  
里帰り出産断る

産科医の集約が、地域医療の維持に必要とされている。産科医の集約が、地域医療の維持に必要とされている。

市長自ら医師確保

産科医の集約が、地域医療の維持に必要とされている。産科医の集約が、地域医療の維持に必要とされている。